

## 令和6年度自己評価に関する情報開示

社会福祉法において各保育所、認定子ども園では、保育の質の向上に実効性のある自己評価に取り組み、利用者様へ情報の提供が義務付けられています。そこで登園でも自己評価を実施し情報公開させていただきます。

今年度の自己評価は、新たな試みとして保育所保育のチェックリスト100ではなく、新たに自己評価シートを使い今の保育に合わせた評価を行いました。なお給食室職員は、食育食事の提供に関するチェックリスト100を引き続き使用し評価を行いました。

### ○年間自己評価から見えてくるもの

前年度の自己評価チェックで記載した事を踏まえ今年度の計画Plan（課題・目標・具体的にやってみたい事など）を個人・クラス単位で考え、年度末に自己評価シートを使いチェック、評価、課題、改善点、次年度の目標やねらいへと繋げてみました。

## 食育・食事の提供などに関する自己評価

### ○年間自己評価から見えてくるもの

#### \*個人

（今年度の評価点）

- ・クッキングを楽しむことができた。
- ・衛生管理表の徹底（ウイルス感染することなく仕事をすることができた）
- ・適温での提供ができた。
- ・給与栄養目標（提供する給食における栄養摂取の目標値）等の達成がある程度できた。

（今年度の課題点）

- ・クッキングを行うことができたが、年度末に集中した。

（次年度の改善点）

- ・今年度のクッキングをクラスに応じてステップアップしていきたい。
- ・報告、確認
- ・引き続き衛生管理に気を付けていく。

（今年度の評価を踏まえ、次年度「指導計画」に盛り込む内容）

- ・少しでも疑ったら報告・確認を行う。
- ・引き続き給与栄養目標の達成に向け努力していきたい。
- ・子どもたちが楽しめるクッキングを計画的に行っていきたい。

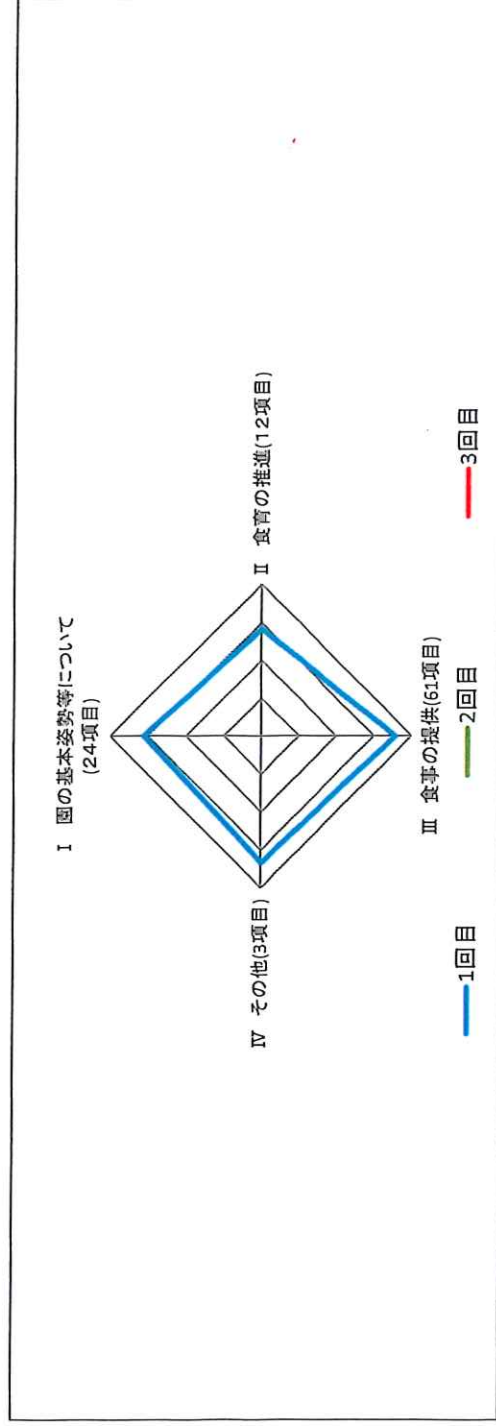
＜評価方法＞

理解し実施している…◎ 3点 一部実施している…○ 2点 不安がある…▲ 1点 実施していない…× 0点

集計結果（チェック1回分）

| 回答人数                |  | 3人  |    |    |    |
|---------------------|--|-----|----|----|----|
| 入力してください            |  |     |    |    |    |
|                     |  | 1回目 |    |    |    |
| 評価                  |  | ◎   | ○  | ▲  | ×  |
| Ⅰ 園の基本姿勢等について(24項目) |  | 19  | 33 | 11 | 9  |
| Ⅱ 食育の推進(12項目)       |  | 6   | 18 | 7  | 5  |
| Ⅲ 食事の提供(61項目)       |  | 78  | 66 | 26 | 13 |
| Ⅳ その他(3項目)          |  | 4   | 3  | 0  | 2  |

レーダー



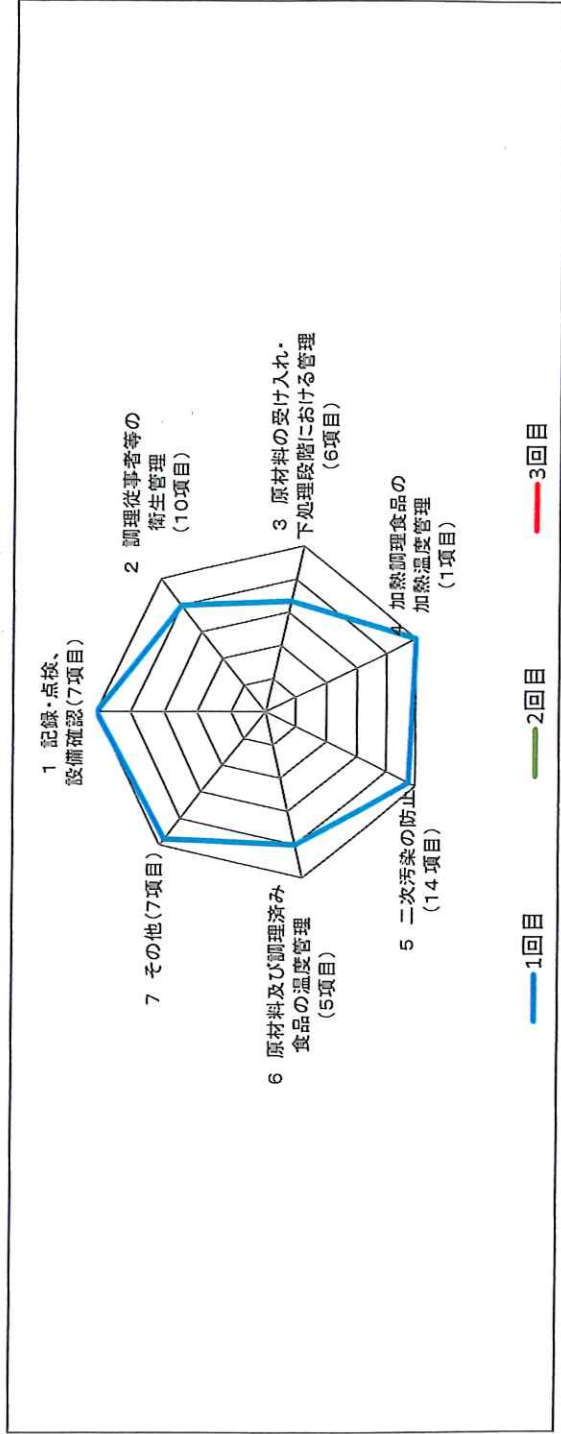
<評価方法>

理解し実施している…◎ 3点 一部実施している…○ 2点 不安がある…▲ 1点 実施していない…× 0点

集計結果（チェック1回分）

|                             | 回答人数<br>入力してください | 1人  |   |   |   |   |
|-----------------------------|------------------|-----|---|---|---|---|
|                             |                  | 評価  |   |   |   |   |
|                             |                  | 1回目 |   |   |   |   |
|                             |                  | ◎   | ○ | ▲ | × |   |
| 1 記録・点検、設備確認(7項目)           |                  | 7   | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2 調理従事者等の衛生管理(10項目)         |                  | 7   | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 3 原材料の受け入れ・下処理段階における管理(6項目) |                  | 2   | 3 | 0 | 1 | 1 |
| 4 加熱調理食品の加熱温度管理(1項目)        |                  | 1   | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5 二次汚染の防止(14項目)             |                  | 12  | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 6 原材料及び調理済み食品の温度管理(5項目)     |                  | 2   | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 7 その他(7項目)                  |                  | 6   | 1 | 0 | 0 | 0 |

レーダー



## 保育に関する自己評価

### 〇年間自己評価から見えてくるもの

#### 未満児より

##### \*個人

(今年度の評価点)

- ・子どもの一人ひとりの発達課題を立て必要な保育援助が出来た。
- ・子ども保育者に対して笑顔を心がけた。
- ・一人ひとりの発達が違う中で、どのように関わり言葉かけをしたらよいのか、その場面で考え行動する事が出来た。
- ・家庭との連携を取りながら育ちを共有し、成長の喜びを共感できた。
- ・一斉保育ではなく担当制の保育形式で行い、23名の大人数の子ども達であったが丁寧にみることが出来た。
- ・個々の発達を捉えながら月案を立て、振り返りをして次の保育へ繋げていった。
- ・トイレトレーニングや食事等、記録を取りながら一人ひとりに合わせた関わりが出来た。
- ・子どもの気持ちに寄り添うように心掛けながら関わった。
- ・不安な気持ちでいる子には声を掛け遊びに誘い、遊びを共にしながら笑顔になるように努めた。

(今年度の課題点)

- ・担当する子どもの発達の幅があり身体を使った粗大(身体のピンポイントに働きかける)運動があまり出来なかった。
- ・トラブルが多いクラスで、どうしてダメなのかを理由を知らせる余裕が無く、つい「だめよ」と禁止用語が増えた。
- ・職員間で相談しながらもっと専門的な知識を深め、保育に当たる様にしたい。
- ・他クラスとの交流が少なく、認識出来ない子もいた。
- ・一人ひとりに寄り添う保育を念頭に置いていたが、つい全体に話しかけるような大きな声での言葉かけとなりがちであった。
- ・発達を捉えながらも遊びの工夫はもっと必要、知らない事も多く知識の獲得の為の努力も必要である。
- ・勤務年数が浅く、行事の準備等がまだよく把握できず動きが遅れることがあった。
- ・戸外でも三輪車等の遊びなどの活用を含め、運動遊びをもっと取り入れたいと思う。
- ・衣服の着脱等つつい手を手を貸してしまい、自立に向けた見守り待つ事の難しさも感じた。

(次年度の改善点)

- ・低年齢児が安全に又必要な粗大、感覚統合遊びが出来る環境の確保をする。
- ・行事に関してよく知り自発的に動けるようになっていく。
- ・微細遊びで集中して遊べる環境を作ったが、数が足りず取りあいとなることもあったので十分な数の準備と環境設定を工夫していきたい。

- ・他の職員の子ども達への関わりで良い所を吸収し保育の質を向上させていきたい。
- ・何歳児であっても一人ひとりに寄り添う保育が必要。子どもがはじめて関わる家族以外の大人として安心、信頼出来る存在になっていきたい。
- ・発達を捉えた一人ひとりに合った遊びの工夫と環境づくりをしていきたい。
- ・行事等は計画的に取り組めるように、分からない事は聞き早目に取り組むようにしたい。
- ・登る、跳ぶなど運動機能、手先の発達に即した微細遊びの工夫などしていきたい。
- ・子どもの自立に向け、手を出し過ぎず見守り、さりげない援助、出来た達成感を共感し、次のやってみようように繋げていく。

#### ＊クラス運営

(今年度の評価点)

- ・担任全員が0歳児保育の共通理解が出来て良い運営が出来た。
- ・大好きな事、マイブームを遊びやお遊戯会の中に取り入れ、それが何人かに広がりクラスでも楽しむ事が出来た。
- ・全体をみんなで見ながらも、担当制を取り入れ個々に丁寧に関わることが出来た。

(今年度の課題点)

- ・粗大遊びに関しては、担当児を発達段階で分けて別の活動が出来る様、担任同士の話し合いが必要であった。
- ・一人ひとりのマイブームを環境として取り入れ、登園が楽しくなるような環境までは作れなかった。玩具を箱で提供する事もまだ多かった。
- ・子どもたちがもっと遊びこめる環境を保育者間で話し合い、環境作りの必要がある。

(次年度の改善点)

- ・話し合い→実行→気づき→更に話し合い成長に繋げる。
- ・子どもたちが遊びたいものを見つけ喜んで登園し、遊びこめる場作りが必要。
- ・保育や環境作り等、保育者間で共通理解出来るような話し合いの場を設けて行く。

#### 以上児より

##### ＊個人

(今年度の評価点)

- ・主担任が保育しやすい環境を考え、清掃や子ども達のメンタル面のサポート、健康面の把握に努めた。
- ・子ども達との関わりを沢山とる中で、一人ひとりの性格や欲求など理解し、安心できるように声かけなどする事が出来た。
- ・前半は、保育者が声かけする回数が多くあったが時間や過ごし方を知らせるうちに自分で気づき生活できるようになった。
- ・子ども達の意見に耳を傾けて遊びに取り入れる事が出来た。
- ・個性の強い子が多かった為、時間に余裕のある時は、一人ひとりと向き合う時間を取り、ゆっくり関わるように心掛けた。

- ・一人ひとりに対しての関わりを意識して関わるようにした。
- ・子どもの活動内容を相談し、子どもたちが十分遊べるようにした。
- ・本や紙芝居を沢山読むことで、ファンタジーの世界、興味を広げられるようにした。

(今年度の課題点)

- ・活動的な遊びの取り入れ方
- ・毎日の勤務ではないパート勤務で、子ども達の成長の把握が追いつかない事もあり、一人ひとりに合った対応、言葉かけを日々考える必要があった。
- ・子ども達の個人差に寄り添った保育を目標にしていたが出来る子が主体となってしまうていた。
- ・子ども一人ひとりにじっくり関わる事が出来なかった。
- ・毎日子どもたちが「保育園楽しい」と思えるような環境作り、手作りおもちゃ等を取り入れ工夫していきたい。
- ・同じ事を繰り返す子に、何がいけなかったのか十分に理解出来る様に話す事が難しかった。

(次年度の改善点)

- ・子どもたちを中心とした活動的な遊びを沢山取り入れたい。
- ・一人ひとりに合うスピードや声かけで、身の回りの事の自立に向け環境を整え声かけしていきたい。
- ・言葉数の少ない子どもには、これからも積極的に声をかけるよう意識していきたい。
- ・子ども主体の保育の在り方や一人ひとりの発達に応じた保育を意識していきたい。
- ・子どもに無理のない様に、保育者自信が余裕を持って保育をしていきたい。
- ・言葉遣いに気を付け、一人ひとりに優しく笑顔で接する事が出来るように努力していきたい。
- ・子どもに寄り添いながら保育者の思いや願いを盛り込んでいきたい。
- ・本など媒体をどんどん活用したい。

＊クラス運営

(今年度の評価点)

- ・子ども同士がお互いに声かけし合い気づける事が多くなった。
- ・個性を尊重するようにした。
- ・異年齢児の関わりが増え、自ら年上の子と遊ぶ姿があった。
- ・主担、副担で役割分担が良くできていたので動きやすいクラスとなった。

(今年度の課題点)

- ・自己主張できる子どもの意見が主な活動となる事が多かった。
- ・余裕が無く、一人ひとりの子への対応を丁寧に行えない時もあった。
- ・主張できる場を設けていたが、主張出来ない子にも寄り添い、活動を考えていくべきであった。

(次年度の改善点)

- ・個々に寄り添い、控えめな子どもの声を聞いていく。
- ・話しやすい様な雰囲気作りをする。
- ・担任同士もっと余裕を持って、保育に取り組んでいきたい。
- ・クラス内で共通理解を定期的に行い、子ども一人ひとりが安心できるクラスを作っていきたい。

＊園全体

(今年度の評価点・課題点・改善点)

・子どもたちの声を聞き、一人ひとりに合った保育に努め、日々保育を行っていることを評価点とする。課題・改善点としては、保育の ITC 化を活用していく。保育の見える化をする事で子どもたちの魅力を保護者の方と共有したり、保護者や子どもまた職員間での対話の広がりにつなげたり、今以上にコミュニケーションを豊かにしていきたい。

<まとめ>

以上のような事を踏まえ、来年度の指導計画に目標やねらいとして盛り込んで保育していきます。一人ひとりに目を向け、子どもの声に耳を傾け、子どもの健康状態や発達段階を把握し、何に関心があるのかに注目しながら保育を心がけ、私たち一人ひとりの自己評価がより良い保育を目指すきっかけとなるようにと願います。

| 自己評価シート項目                       | 評価(できている) |
|---------------------------------|-----------|
| 1 保育の計画性(15項目)                  | 72%       |
| 2 保育の在り方、幼児への対応(17項目)           | 78%       |
| 3 保育者としての資質や能力、良識、適正(15項目)      | 84%       |
| 4 保護者への対応、守秘義務(21項目)            | 81%       |
| 5 地域の自然や社会との関わり(12項目)           | 70%       |
| 6 保育者の専門性に関する研修、研究への意欲、態度(11項目) | 70%       |
| 7 保育の在り方、3歳未満児への対応(18項目)        | 88%       |
| 8 地域における子育て支援(17項目)             | 参考記入      |

《評価方法》1 出来ている○ 2 あまり出来ていない× 全  
ての項目に関して全員の回答ではない。正職 からパート職員ま  
での16名。当てはまらないものは空欄記載での集計を取る

\* 8地域における子育て支援については、自園では一時保育  
事業等であり今後 広げていきたい分野である。これからの課題

